

確認テスト

所属_____

氏名_____

権利擁護／虐待防止①基礎知識編～②基本的人権とはどんな権利？

1) 基本的人権が規定されているのは、以下のどちらだと思いますか？

1. 日本の最高法規の「日本国憲法」(1947)
2. 社会福祉の基本法の「社会福祉法」(2000)

2) 以下の文章は適切ですか？

社会権は、国民の幸福な生活を保障することを国に要求する権利である。

3) 次の権利のうち、社会権に当たるのはどれでしょうか？

- ①思想・良心の自由
- ②健康で文化的な最低限度の生活を営む権利
- ③不当に抑留・拘禁されない
- ④居住・移転・職業選択の自由
- ⑤勤労の義務と権利

4) 「自分でできることはすべて自分で行ってもらうこと」は基本的人権を尊重したケアとは言えません。なぜでしょうか？

※考えるヒント：尊厳の尊重

5) 集団的ケアは、基本的人権を尊重したケアだとは言えません。なぜでしょうか？

※考えるヒント：自己決定、個別ケア

権利擁護／虐待防止①基礎知識編～②基本的人権とはどんな権利？

1) 解答 ①日本国憲法

<解説>

日本国憲法第 11 条で、基本的人権は「侵すことのできない永久の権利」と規定されています。日本国憲法における基本的人権規定は、国家による国民の権利保障で、公共の福祉に反しない限り、最大限に保障されます。なお、公共の福祉とはたとえば、表現の自由はあっても、プライバシーを侵すことは認められない、などのことです。

基本的人権の分類 ※分類には諸説あり。

自由権

社会権

参政権

国務請求権

2) 解答 適切

<解説>

社会権は、国民の幸福な生活を保障することを国に要求する権利です。自由権は国から勝ち取ったものであるのに対し、社会権は幸福な生活の保障を求める国民に答え、国が積極的に保障することで実現します。国民の要求に応える国は「福祉国家」と呼ばれます。

(参考) 参政権：国民が政治過程への参加を要求する権利。

平成 25 年の公職選挙法改正で、成年被後見人の選挙権が回復された。

➔ それ以前は、成年被後見人になると、選挙権がなくなっていた。

3) 解答 ②健康で文化的な最低限度の生活を営む権利、⑤勤労の義務と権利

<解説>

社会権は、国民の福祉の向上のための権利です。※②健康で文化的な最低限度の生活を営む権利は生存権と呼ばれる権利です。現在は一歩進めた「幸福追求権」も福祉の基本原理となります。

以下の 3 つは自由権です。

①思想・良心の自由 ➔ 精神的自由権

③不当に抑留・拘禁されない ➔ 身体的自由権

④居住・移転・職業選択の自由 ➔ 経済的自由権

4) 解答 (例)

- ・自分でできることは自立支援のために重要だが、すべてを行うことは時間がかかりすぎることもあるため。
- ・時間がかかることで本人の尊厳が傷つくこともあるため。 などなど

